



公開講座 2023-III 「就学前の特別支援教育」

早期発見から早期支援へ

講師 松本恵美子（関西国際大学 教育学部 准教授）

2024年 1/25(木)・2/1(木)・8(木)・15(木) <全4回>

- ◆ 時 間：19：00～20：30
- ◆ 場 所：関西国際大学 尼崎キャンパス

「早期発見・早期療育」という言葉は、特別な支援を要する子供たちに対する教育が始まって以来、ずっとテーマとして掲げられてきました。しかしその内容は、児童発達に関する科学の発達とともに、大きく変化してきたことを念頭に、今一度、発達障害児に関する早期発見と早期療育、そして保護者支援のあり方について振り返ってみたいと思います。

| 回 | 日程 | 主題 | 内容 |
|---|-------------|-------|---|
| 1 | 1/25 (木) | 早期発見 | 発達障害の子ども達の発達は、乳幼児期から、“彼らの発達の道筋”を持っているように思えます。その彼らの発達の道筋のどこに着目すれば、早期発見につながるのかについて振り返ります。 |
| 2 | 2/1 (木) | 早期支援 | 発達障害の子ども達の発達の凸凹は、子どもが小さいほど「まだ様子を見てみてもよいのでは・・・」と保護者に思わせる要因となり、療育に対する思いを固めにくくします。その超早期の段階からどのように支援をしていけばよいのかについて考えます。 |
| 3 | 2/8 (木) | 連携 | 発達障害を持つ子どもには、たくさんの専門機関が関わることとなります。が、その機関同士は、本当に連携をとれているのでしょうか。様々な事例をもとに保護者を含めて、連携とは何を指すのかについて考えます。 |
| 4 | 2/15 (木) | 保護者支援 | 保護者はパートナー、連携の一員とよく言われます。でもやはり一方で、支援を求めている人でもあります。保護者支援を行う時の視点について考えてみたいと思います。 |

オンライン 開催あり

Zoomによる
リアルタイム配信
&
アーカイブ配信

受講料

8,000円（全4回分）

※事前入金制（お申し込み後、
口座をお知らせいたします。）

申込締切

1月22日(月)

対象・定員

教員・保育士の方を中心に
興味のある方ならどなたでも

- ・ 対面80名（先着）
- ・ オンライン200名

大学HPの公開講座

「申込フォーム」
からお申込み下さい



KUIS 関西国際大学
Kansai University of International Studies

社会連携課
(尼崎キャンパス)

〒661-0976

兵庫県尼崎市潮江1-3-23

☎06-6496-4103

e-mail : kouza@kuins.ac.jp